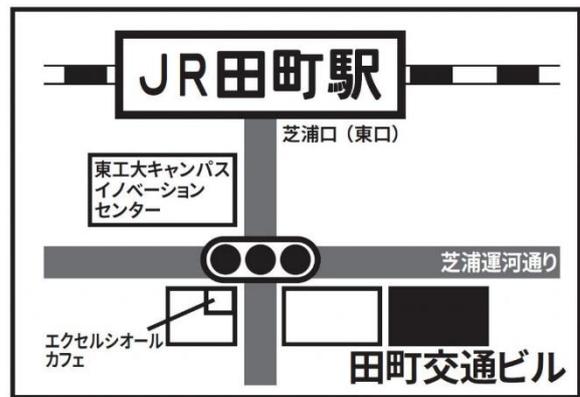


# 協働型災害訓練 in TOKYO

日時 2019年10月5日(土) 10:00-16:30

会場 田町交通ビル 5階大会議室

アクセスはこちら▶▶▶▶



## 協働型災害訓練in東京

1)広域的災害図上訓練(DIG)の実施による地域間連携強化…被災地行政との広域共助を行うことで、来たるべき都市直下型地震や同様の災害発生時に実行可能な備えを行う。連合各県災害ボランティアや地域において活躍できる自主防災組織のリーダーの資質と能力の向上を図り、災害図上訓練DIGを利用してDIGに関する知識や技法を習得させる。

東日本大震災初動、復興支援を行った市民キャビネット災害支援部会の協力を得て、首都圏直下型大地震を想定した、合同訓練を行い、相互連携を「見える」化する。

※DIG…Disaster(災害)、Imagination(想像力)、Game(ゲーム)の頭文字を取ったもので、参加者が地図を使って防災対策を検討する訓練のこと。ステークホルダーが一同に介して行うことで、情報や課題や対策を多くの人々が共有することができる手法として注目されている。

3)避難者支援ノウハウの共有による地域拠点の整備・人材育成交流事業の強化…福玉会議(事務局埼玉労福協)は地域サロンの運営・福島県避難者交流、コミュニティ構築・再生のため地域拠点の整備に力を注いでおり、お互いのノウハウを共有しながら拠点整備や人材交流をさらに強化する。東日本大震災発災後の埼玉労福協の活動はモデルとなりうる取り組みであり、大いに参考に成るものと期待している。

2)首都圏直下型大地震を想定したICS実務訓練による環境整備…災害版ISOとして世界共通言語となっているICS導入を目指した環境整備を行う。自主的な初動救助を担う市民救助隊

(CommunityFirstResponder)・全日本救助犬団体協議会・市民航空災害支援センター、自主防災組織、炊き出し隊、行政等と連携し、大規模な災害支援訓練を東京で開催する。東日本大震災救援を担い成長した姿で首都圏直下型地震に対応する訓練で、全国から参集します。

これらを活用し統合的な実務・連携訓練を行い、顔の見える関係づくりを進めて、発生時に迅速かつ正確に対応ができる環境を整える。

※ICS…IncidentCommandSystem、災害現場・事件現場などにおける命令系統や管理手法が標準化されたマネジメント・システム。

## プログラム内容

- 挨拶
- 報告 協働型災害ボランティアセンター 事務局
- 記念講演 1 海上災害防止センター(依頼中)
- 記念講演 2 東日本大震災時の避難者支援の取り組み(埼玉労福協 永田専務理事)  
(昼食)
- 訓練前提 住民アンケートからみえるもの(港区芝会議まちづくり部会 佐野靖夫先生)  
災害時救援シナリオ発災後 1週間(東日本大震災での活動から編集した動画)  
訓練説明(立正大学・地球環境科学部・環境システム学科 後藤真太郎教授)
- アイスブレイク
  - ・ICS訓練(発災直後 10日間)
  - ・ICS訓練(発災から 20日後以降)

参加申込先 市民キャビネット事務局(公益社団法人 ユニバーサル志縁センター内)

▶▶▶FAX 03-64501820 e-mail : info@u-shien.jp

お名前	TEL	E-mail	所属団体
お弁当(お茶付き)800円を希望 [する・しない]※		お弁当を希望される方下記からお選びください [草苗弁当(揚げ物控え目)・ハンバーグ弁当・とんかつ弁当]	

※参加費 500円とは別になります。